



## 激増するスギ・ヒノキ花粉症とその対策

### ーオミクロン株流行時における大量飛散にどう対応するか？ー

- 1) 大津市におけるスギ・ヒノキ花粉飛散数の変化と今年の飛散予測
- 2) オミクロン株流行時における花粉症対策
- 3) スギ花粉舌下免疫療法の新たな展開（滋賀医科大学の基礎・臨床研究から）
- 4) 市民公開講座のご案内

今年も春の花粉症の季節が近づいてきました。スギ・ヒノキ花粉症の患者は、過去20年間に急増し、現在10～50歳代の日本人の2人に1人が罹患し、特に5～30歳の小児から若年層で著しく増加しています。

本年度は、スギ・ヒノキ花粉の大量飛散が予想されます。花粉の飛散予測に加えて、オミクロン株流行時における花粉症対策やスギ花粉舌下免疫療法の新たな展開（滋賀医科大学の基礎・臨床研究から）、市民公開講座のご案内について下記のとおりオンライン記者説明会を行います。

ご参加いただける場合は、事前に本学総務企画課広報係までご連絡をお願いいたします。



清水猛史 教授

#### 【記者説明会開催日時等】

○日 時：令和5年2月20日（月）10時00分から1時間程度

○場 所：オンライン開催（Zoomを使用）  
（本学広報係:hqkouhou@belle.shiga-med.ac.jp に事前連絡いただくことで招待URLをお送りいたします）

○説明者：滋賀医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座  
教授 清水 猛史（しみず たけし）

本件発信元

滋賀医科大学総務企画課 岩品

TEL：077-548-2012

e-mail：hqkouhou@belle.shiga-med.ac.jp

## 激増するスギ・ヒノキ花粉症とその対策

### ーオミクロン株流行時における大量飛散にどう対応するか？ー

- 1) 大津市におけるスギ・ヒノキ花粉飛散数の変化と今年的大量飛散予測
- 2) オミクロン株流行時における花粉症対策
- 3) スギ花粉舌下免疫療法の新たな展開（滋賀医科大学の基礎・臨床研究から）
- 4) 市民公開講座のご案内

我が国におけるスギ・ヒノキ花粉症の有病率は過去 20 年間に急増し、現在は 10～50 歳代の日本人の 2 人に 1 人が罹患し、特に 5～30 歳の小児から若年層での増加が著しい。京滋地方ではスギ花粉が 2 月下旬から 4 月中旬、ヒノキ花粉が 3 月下旬から 5 月初旬まで飛散し、スギ花粉症患者の 70～80%は、続いて飛散するヒノキ花粉症も有している。スギ・ヒノキ花粉症が急増している最も大きな原因は、第二次大戦後に植林されたスギ・ヒノキが成長し、毎年大量に花粉を飛散させることにある。西日本にはヒノキの人工林が多く、関西ではヒノキ花粉の飛散数がスギ花粉の飛散数を上回る。花粉の生育に関わる昨年 7 月の気象条件から予測した今年のスギ・ヒノキ花粉飛散は「例年より多い大量飛散」と考えられる。

オミクロン株流行時の花粉症対策においては、①新型コロナウイルス感染症と花粉症の症状を間違えないこと、②早期に治療を開始して、人前でくしゃみや鼻汁などの症状を見せないこと、③新型コロナウイルス感染症の予防には室内の換気が重要であるが、一方で花粉を室内に持ち込まない工夫が重要になる。オミクロン株は従来株に比べて鼻汁、くしゃみ、頭痛、倦怠感、のどの痛み、などの上気道炎症状が多く、発熱や嗅覚障害の症状は少なく、軽症例が多いため花粉症の症状と類似している。発熱や嗅覚障害があるときはもちろん、頭痛、倦怠感、のどの痛みなどがある場合はオミクロン株感染を考えて対応する必要がある。

スギ・ヒノキ花粉の大量飛散が予測される今年は、花粉症の症状が出始める早期から例年より強めの治療を開始するのが良い。早めに眠気の少ない市販薬を服用するか、医療機関を受診することをお勧めする。室内の換気は花粉があまり飛ばない早朝か夜間に行い、外出後は衣服を払って花粉を室内に持ち込まないように注意する。空気清浄機なども有用である。マスクは花粉症予防にも有効であるが、ウイルスが付着した手で目や鼻を触ると感染リスクがあるので、手指の消毒を徹底する必要がある。

花粉症の治癒が期待できる唯一の治療法として、2014 年に標準化スギ花粉抗原を用いた舌下免疫療法の保険診療が開始された。それまでの注射による皮下免疫療法に比べて、自宅で行うことができ、アナフィラキシーショックの副作用がほとんどないことから、急速に普及した。2015 年にはダニ抗原による舌下免疫療法が導入され、2018 年にはその適応が小児にも拡大した。我々は、①スギ花粉とダニの併用舌下免疫療法を提案してその有効性と安全性を確認し、②小児の舌下免疫療法に成人と同様な効果と安全性が期待できること、③スギ花粉舌下免疫療法はヒノキ花粉症にもある程度の

効果が期待できることなどを報告している。

舌下免疫療法は、症状が強く薬剤を減らしたい人や、薬剤で眠気の副作用が出やすい人、若くて毎年花粉症の症状がある人、仕事や勉強に支障がある人、将来妊娠を予定している人（妊娠中は薬剤を使用できないので）、受験を控えている人（花粉飛散時に受験期が重なるので）などに是非おすすめしたい。

今後の市民公開講座として、2月26日（日）に「第18回滋賀アレルギーフォーラムー時代とともに変化するアレルギー診療の現状と未来」（Web配信）、3月21日（火・祝）に耳の日を記念した「聴こえの講演会」（滋賀医科大学リップルテラス2階：現地参加のみ）を予定している。

# 第18回 滋賀アレルギーフォーラム

アレルギー週間（2/17～2/23）の一環として、県民対象の公開講座を開催いたします。今年は「時代とともに変化するアレルギー診療の現状と未来」を主テーマとして、最新の情報をお知らせいたします。皆様の日頃の疑問にお答えする時間も設けておりますので、ぜひ多数ご参加ください。

テーマ：

「時代とともに変化するアレルギー診療の現状と未来」

日時：令和5年2月26日（日）

13：30～15：40

開催方式：Web（ライブ）配信（Zoom使用）



～プログラム～

司会進行・開会挨拶

済生会守山市民病院

院長 野々村 和男 先生

第1部 <13：35～14：15>

滋賀医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

『アレルギー性鼻炎診療の現状と未来』

講師 戸嶋 一郎 先生

第2部 <14：15～14：55>

滋賀医科大学 皮膚科

『アトピー性皮膚炎診療の現状と未来』

講師 高橋 聡文 先生

第3部 <14：55～15：35>

済生会守山市民病院 小児科

『食物アレルギー診療の現状と未来』

医長 國津 智彬 先生

閉会挨拶

滋賀医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

教授 清水 猛史 先生

< 視聴ご希望の皆様へ >

ご参加の際は、事前申し込みが必要です。詳細は裏面をご覧ください。

共催：滋賀県、国立大学法人滋賀医科大学、(公財)日本アレルギー協会関西支部、  
滋賀県立小児保健医療センター、杏林製薬株式会社

後援：厚生労働省、(公社)日本医師会、(一社)滋賀県医師会、(一社)滋賀県薬剤師会、  
(一社)日本アレルギー学会、(一社)日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会滋賀県地方部会

# 【事前のお申し込みについて】

1. QRコードかURLから日本アレルギー協会へアクセス  
<https://bit.ly/3CG20Wo>



**締切日：2月22日水曜日まで**

2. 必要事項を入力し送信すると、登録したメールアドレスにURLが届きます

3. URLへアクセス頂きウェビナー登録をお願い致します

ウェビナー登録

[f](#) [t](#) [in](#) [e](#)

トピック 第18回滋賀アレルギーフォーラム

時刻 2023年2月26日 01:30 PM 大阪、札幌、東京

\* 必須情報

名 \*

姓 \*

メールアドレス \*

メールアドレスを再入力 \*

**定員400名！**

※ 定員になりましたら受付を終了します  
(定員後のお申し込みの方へはご連絡致します)

※ご登録の際、お名前、メールアドレスのみ再度入力をお願い致します

4. ウェビナー登録完了後、開催日にURLをクリック頂きご参加ください

Zoom に参加する方法

PC、Mac、iPad、または Android から参加する

**ウェビナーに参加**

上記のボタンが機能しない場合は、このリンクをブラウザに貼り付けてください。  
[https://zoom.us/j/94405838509?tk=OWg7nZrDk0XXSDljkXz8S7CPl\\_ytj2jcgYVrClCQCvg\\_DQMAAAAV-wbGrZRUIHQ3NidadFJKbVJrQW5rcUy5bWVRnAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAA&pwd=TOVLNStacGErcGM5MGfYIhpSGtwdz09&uuiid=WN\\_5-WfPs\\_dSQa44rMIFaHkKQ](https://zoom.us/j/94405838509?tk=OWg7nZrDk0XXSDljkXz8S7CPl_ytj2jcgYVrClCQCvg_DQMAAAAV-wbGrZRUIHQ3NidadFJKbVJrQW5rcUy5bWVRnAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAA&pwd=TOVLNStacGErcGM5MGfYIhpSGtwdz09&uuiid=WN_5-WfPs_dSQa44rMIFaHkKQ)

ご登録頂いたメールアドレスへ  
左記ご案内メールが届きます。  
「ウェビナーに参加」をクリックいただき、  
ご参加下さい。

◎ ZOOMのアプリが便利です。インストール方法については以下のサイトをご参照ください。  
<https://zoom.nissho-ele.co.jp/blog/manual/zoom-install.html>



※（公財）日本アレルギー協会関西支部が取得した個人情報は、本講演会視聴のために必要な設定、ご視聴の有無の確認、今後の講演会のご案内等の目的で利用し、ご同意なく第三者に開示・提供することはありません。

（公財）日本アレルギー協会 関西支部では、アレルギー疾患に関する様々な最新の情報を随時掲載・更新しています。下記URLもしくはQRコード®にアクセスいただくと、ご覧いただけます。一度ご覧ください。

【URL】 <http://allergie-kansai.jp/>

【QRコード®】⇒



（公財）日本アレルギー協会 関西支部 「第18回滋賀アレルギーフォーラム」事務局  
〒567-0047 大阪府茨木市美穂ヶ丘3-6 山本ビル302号  
TEL：(072) 620-7474 e-mail：[allergy-week@allergie-kansai.jp](mailto:allergy-week@allergie-kansai.jp)

# 「聴こえの講演会」ご案内

**日時** 令和5年3月21日(火・祝) 14:00~15:50(受付開始 13:30)

14:05~14:35 「きこえのしくみと難聴」

講師 滋賀医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 松本晃治

14:35~15:05 「補聴器の上手な選び方と使い方」

講師 滋賀医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 安本景太

15:05~15:35 「最新の人工聴覚器について」

講師 滋賀医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 神前英明

15:35~15:50 質疑応答

**会場** 滋賀医科大学リップルテラス 2階 〒525-0077 草津市笠山7丁目6-53

\*セブンイレブン横駐車場のご利用はご遠慮願います。

\*車でお越しの方は駐車券の無料処理を行いますので、受付にて申し出てください。駐車場での事故は、開催者では責任を負いません。

**対象者** 補聴器装用者、聴こえにくさや難聴のある方、  
聴こえに関心のある方、医療・福祉関係者 等

**申込方法** ファックスにてお申し込みください。

(Eメールまたは電話でも受付可)

\*申し込み先・申込用紙は裏面をご覧ください。

**申込期限** 令和5年3月7日(火) 定員60名(先着順)

**参加費** 無料

## 来場に関するご注意

- ・マスクを着用されていない方は入場できませんので、ご用意をお願い致します。
- ・入り口で体温チェック、問診等により新型コロナウイルス感染の疑いありとこちらが判断する場合は入場をお断りすることがあります。
- ・新型コロナウイルス感染状況等により、本公開講座の全面中止または一部中止や変更の可能性がります。

\*「参加申込書」に必要事項をご記入いただき、ファックスにてお申し込みください。

Eメール・電話でも受付けています。 申込期限：3月7日（火）

滋賀県立リハビリテーションセンター更生相談係

FAX 077-567-7222

電話 077-567-7221

Eメール [eg3002@pref.shiga.lg.jp](mailto:eg3002@pref.shiga.lg.jp)



\*コロナウイルス感染状況等により開催の中止・変更がある場合は、滋賀県立リハビリテーションセンターホームページ「新着情報」にて、当日10時までにお知らせします。「滋賀県立リハビリテーションセンター」で検索し、ホームページのトップ画面最上段「催し」を選択して、「新着情報」よりご確認ください。また、QRコードからも確認できます。

\*ホームページが確認できない方は、ファックス番号、Eメールをお書きください。当日11時までにご連絡します。

([eg3002@pref.shiga.lg.jp](mailto:eg3002@pref.shiga.lg.jp)からのメール受信ができるように設定して下さい)

## 「聴こえの講演会」参加申込書

\*ご記入いただいた個人情報、本講演会に関する目的以外で使用することはありません。

\*来場にあたり「手話通訳」「車椅子の準備」「介助」等の必要な場合は、氏名欄にご記入ください。

氏名	お住まいの市町名 (市町名のみ)	連絡先
*どちらかに○をつけて下さい。 手話通訳 ( 必要 ・ 不要 ) 車椅子の準備 ( 必要 ・ 不要 ) 介助 ( 必要 ・ 不要 ) その他 ( )		電話番号 ( )
		ファックス番号 ( )
		メールアドレス @

\*質問があればご記入ください。(当日の進行によりお答えできないことがありますのでご了承ください)

【主催】 滋賀県立リハビリテーションセンター

国立大学法人 滋賀医科大学

日本耳鼻咽喉科・頭頸部外科学会滋賀県地方部会

【問い合わせ先】 滋賀県立リハビリテーションセンター更生相談係 (担当 内田)

電話 077-567-7221 FAX 077-567-7222